

2025年 6月 20日

川西市議会議長 様

会派（呼称）名 無所属

議 員 名 長田拓也

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

1 調査者氏名

長田拓也

2 調 査 先

徳島県徳島市アスティとくしま

3 調 査 期 間

2025 年 6 月 7 日

2025 年 6 月 7 日

4 調査結果の概要

【視察報告書】第 20 回食育推進全国大会

視察の目的：

本視察は、食育基本法の理念に基づき、自治体における食育推進の取組や先進事例を学び、今後の川西市における施策立案や一般質問に反映させることを目的とする。

印象的な内容と所見：

(1) 農林水産省「ニッポンフードシフト」

農村の関係人口創出の必要性が語られ、地域農業の持続性の確保が焦点となった。グループ討議では、基幹作物（米・大豆等）農家の公務員化を提案し、国家として最低限の食料自給体制を保障する制度設計の可能性について議論。

(2) 食育基本法に基づく政策評価

食育は「知育・徳育・体育」の基礎と位置づけられた理念が共有された一方で、自治体ごとの取組の温度差が存在するとの指摘があった。官民連携による「食育プラットフォーム」や「実践優良法人表彰制度」などの情報も新たに得られた。

・ ブース出展には行政機関（農水省・文科省）も加わっており、各省庁と現場の距離を縮める機会となっていた。・ 地元特産品の紹介や食品企業の実践事例（例：無添加だし、地場パン）を通じて、給食の地産地消・質の向上に向けた示唆が得られた。
川西市でも、食育の位置づけをより高め、こども・大人双方を対象とした実践型プログラムの充実を図る必要がある。また、農業施策と教育施策を横断的に捉える視点が重要である。今回の視察で得た知見を、次回の一般質問や予算要望等に反映させていきたい。